

家族で考える空き家予防～空き家所有者向けエンディングノート作成・活用事業～ (神奈川県居住支援協議会)

課題と目的	神奈川県は、急激に高齢化が進むことが見込まれており、今後は、現在住宅を所有している高齢者に対して、空き家化の抑制が課題である。 こうした県の特徴等を踏まえ、現在住宅を所有している高齢者に対して、将来、所有者不明の空き家が発生させないよう認識を深めてもらうことを目的とする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家発生抑制のための資料（エンディングノート）作成 ・ 上記資料を活用したセミナー・相談会の開催（同内容で2地域）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家予防の資料「空き家にしない“わが家”の終活ノート」を作成 ・ 上記資料をテキストに、空き家予防セミナーと相談会を開催（逗子市、二宮町）

取組内容


○作成会議の開催(3回)
 協議会会員からメンバーを抽出し構成
 ・司法書士会、行政書士会、土地家屋調査士会、不動産団体、フィナンシャルプランナー、市町村
 第2回会議からオブザーバーとして横浜地方法務局も加わる。

▼

○所有者向けエンディングノート「空き家にしない“わが家”の終活ノート」作成


▼

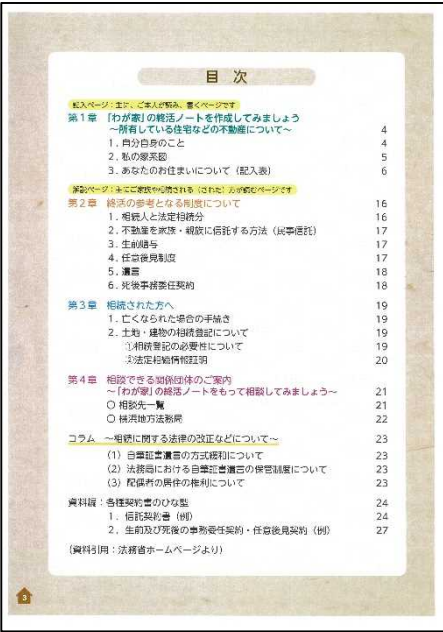
○「空き家予防セミナー・相談会」開催
 ・逗子市、二宮町で開催
 ・上記ノートをテキストとして活用



成果物

『空き家にしない“わが家”の終活ノート』





読んでほしい方(所有者、相続人等)ごとに内容を分け章立てを工夫。分かりやすく、かつ実用的な内容とした。